

特集

**からだ
あなたの身体だいじょひぶ？**

日本人の平均寿命が伸び、人生八十年時代に突入しましたが、まだまだ若くしてこの世を去っていく方々があります。ガン、エイズ……いくら科学が進歩したとはいえ未開発の部分が多いのは事実です。今回は、五月末から始まる町の集団検診を前に健康について特集しました。



保健センター窓に貼られたガン死亡者数

早期発見・早期治療でほぼ完治

成人病には高血圧、心臓病、ガンなどがあり、自覚症状がなければ「健康」と思われがちですが、成人病は、無症状のまま進行することが多く、特にガンはすべての人が「ガン遺伝子」を持っていてこの遺伝子が働きますとガン細胞に変化するといわれています。このように誰でもガンになる可能性はあります。ガンは若いほど早く進行するといわれています。「病気が見つかったら怖い」とか「めんどうだ」といって検診を受けない方もいますが、進行してからでは遅いのです。早期

発見、早期治療でほとんどのガンは九十%を超える確立で治せます。

集団検診は、毎年定期的に受診することで自分の健康管理し、たとえ病気にかかっていても早期に発見し治療することを目的としています。早く治療すればそれだけ治療する確立も高いのです。

町の死因別もガンがトップ

ここ数年、町の死因別死亡数を見ると、相変わらず悪性新生物(ガン)が多く、次いで脳血管疾患、心疾患の順と

なっています。実にこの三種の病で町全体の死亡数の約七割を占めており、このうち全死亡数の三十三%にあたるガンの中では胃・脾臓がトップで年代別では三十代〜六十代の働き盛りが五十七%を占めています。

このように成人病は、われわれの身近なところでもいまだに猛威をふるっています。

成人病にたとえなつたとしても、早くに治療すれば治るものですから、年に一度は自分の健康状態を知るうえで検診は必要不可欠なものと言えます。

死因別死亡数

順位	1	2	3	4	5	総死亡数
S 50	38	21	17	14	13	122
S 55	30	22	20	8	4	98
S 60	25	20	16	7	6	98
H 1	28	27	20	17	6	130
H 2	32	26	16	8	5	115
H 3	36	28	25	7	6	130
H 4	35	22	17	8	4	106

働き盛りの多い 未受診

「働き盛りのガン・脳卒中を予防しよう」を合言葉に町で行っている集団検診は、基本健診、肺ガン・胃ガン・大腸ガン・子宮ガン・乳ガン・甲状腺・胆石症で、保健婦がまとめたデータによると対象者に対し、受診者は20%台と

少なく、ここ数年横ばいの状態が続いています。特に、働き盛りの四十代〜五十代の男性の受診者が対象者の一割にも満たない状態で「仕事が忙しい」とか「どこも悪いところがない」、「検診日が折り合わない」といった理由が上げられています。ガンなどを早期発見すること、病気を治癒する確立が



胃ガン検診の様子

高くなるばかりか、医療費にも影響がでてきます。胃ガンを例にとってみると、早期ガンで一部切除の場合、入院日数約三十日で一〇七万円、進行ガンで全部切除の場合だと約五十日の入院を必要とし一七〇万円と格段の差がでてきます。このように症状が出てからでは遅いということを認識し、早期発見に努めるよう努力したいものです。

意外に多い有所見者

平成四年度の受診結果を見ると、受診者は毎年ほぼ横ばいなのに対し、精密検査が必要とされた方が年々増えている傾向にあります。

基本健康診査

受診者九七七人に対し、異常がなかったのは三六五人と実に37・4%でしかなく、62・6%の方は何らかの所見を持つていました。中でも要指導の判定の中で特に多かったのが高脂血症と心臓病でした。

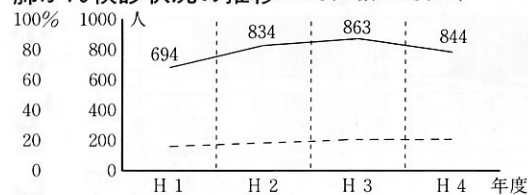
肺ガン検診

肺ガン検診は、平成元年からスタートし、順調に受診者

判定の指導区分別集計

判定	指導区分	要指導	要精検	医療継続
高血圧		90	26	169
貧血症		50	26	1
高脂血症		189	40	7
糖尿病		38	25	12
腎臓病		4	7	0
肝臓病		38	8	9
心臓病		176	19	14
その他		23	13	3
合計(件)		608	164	215

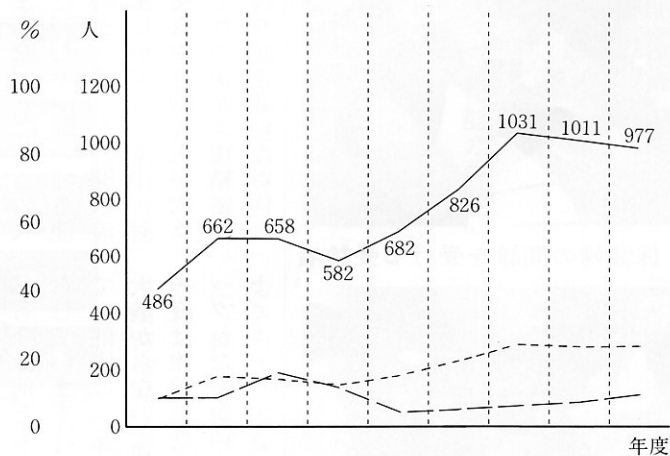
肺がん検診状況の推移



	H1	H2	H3	H4
受診数	694	834	863	844
受診率	15.7	19.1	20.0	20.0
要精検者数	11	17	26	20
肺がん発見数	1	0	0	0
肺がん死亡数(町死亡統計)	10	10	5	0

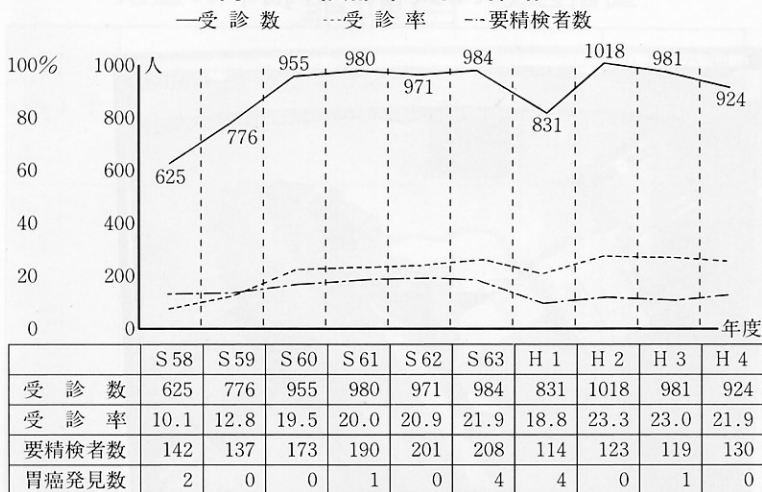
基本健診状況の推移

—受診数 —受診率 --要精検者数

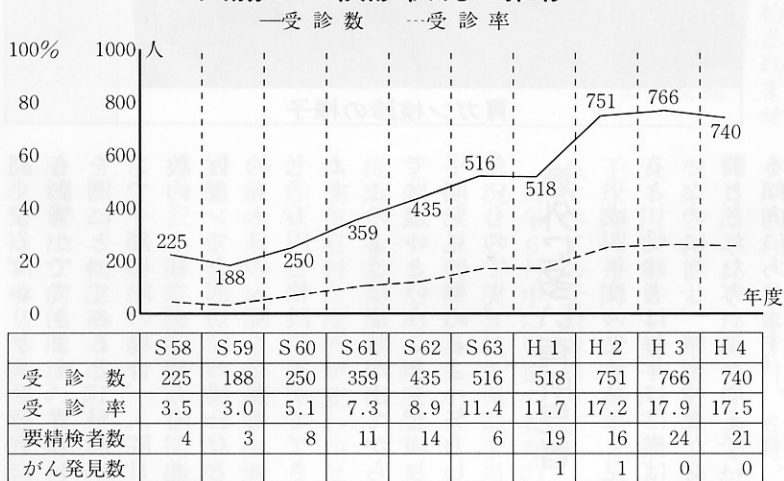


	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4
受診数	486	662	658	582	682	826	1031	1011	977
受診率	8.0	13.5	13.4	12.2	15.0	18.7	23.6	23.2	23.1
要精検者数	104	104	191	134	51	59	72	84	112

胃がん検診状況の推移



大腸がん検診状況の推移



は増えているものの男性の受診者が20%台と低迷。タバコを吸う人は吸わない人に比べ肺がんにかかる危険性が四、二〇倍も高いといわれ、町の死亡統計でも過去四年間で二十五名の方が肺がんで亡くなっているだけに定期的に検査する必要があると思われる。これまで集団検診で二人の肺がん(疑い含む)を発見して

見られています。胃がん検診 日本人に一番多いのがこの胃がんだといわれていますが町でも過去十年間の検診で十二名の胃がんを発見しています。昨年は九二四人受診したうち一三〇人が精密検査を受け、がんはなかったものの胃潰瘍や十二指腸潰瘍などが発見されています。

大腸がん検診 大腸がんは、欧米に多いがとされてきましたが近年日本の食生活も欧米化し、動物性脂肪の摂取が増えた影響からがんになる率も増加の一途をたどっています。町でも今までに二名のがんを発見し、これからも増える傾向にあります。

がんじゃなく「ホッ」としました



木元タコさん

がん検診は役場で集団検診を始めた時からずっと受けてきましたけど、仕事が忙しかったり、時間が合わなかったり、それにどこも悪くないと思っていきましたから途中何年か休んでいました。どここの人ががんだったとか聞いても他人ごとのように、ただ聞き流していました。

か他人ごとで済まされなくなくて、また検診を受け始めたんです。そしたら子宮がんの疑いがあると「ギョッ」としましたよ。精密検査の結果を聞くまでは、いてもたってもいられないって感じでした。結局何事もなく「ホッ」としましたけど。

でも友人や身近な人が次々に検査でひっかかって精密検査を受けた話を聞いたら何だ

よ。大儀がらないで皆さんも年に一度は検診を受けて健康チェックした方がいいと思います



保健婦の問診を受ける受診者



高脂血症栄養教室

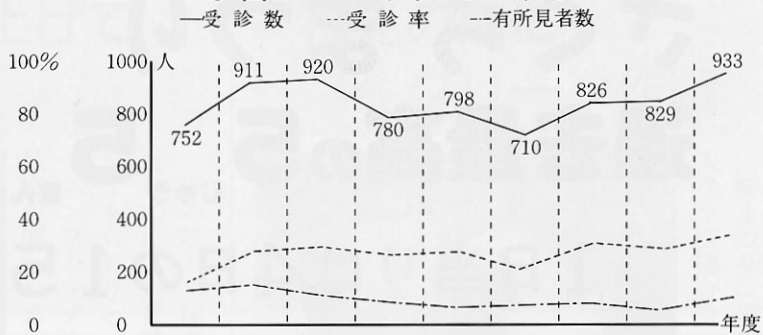
子宮ガン検診

受診数九三三人のうち約一割の方が何らかの所見を持っています。中でも治療が必要であると診断された方が三十五人を数えました。過去に五人のガンが発見されています。乳ガン・甲状腺・胆石症検診

昨年は過去最高の一、〇〇五人が受診し、乳ガン一人、胆石症八人を発見しています。全世帯を対象にローラー作戦（毎戸訪問）を実施しました。

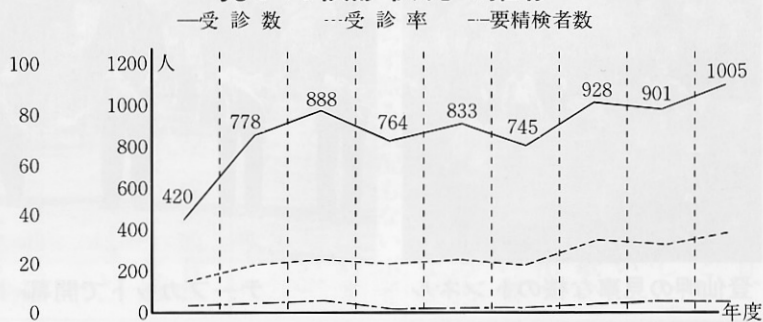
町保健婦、五所川原保健所保健婦が二、六八一世帯を訪問した結果、表のように「健康だと思っている」という理由が第一位となっています。これは健康だからどこも悪くないという過信から来ているものと考えられますが、非常に危険な判断です。また「忙しい」と答えた方は若い年代ほど多く、検診の日程が折り

子宮がん検診状況の推移



	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4
受診数	752	911	920	780	798	710	826	829	933
受診率	16.5	27.2	27.4	23.1	24.1	20.0	27.0	26.5	30.1
有所見者数	132	154	115	87	67	71	73	46	87
がん発見数	1	2	0	0	0	0	1	1	0

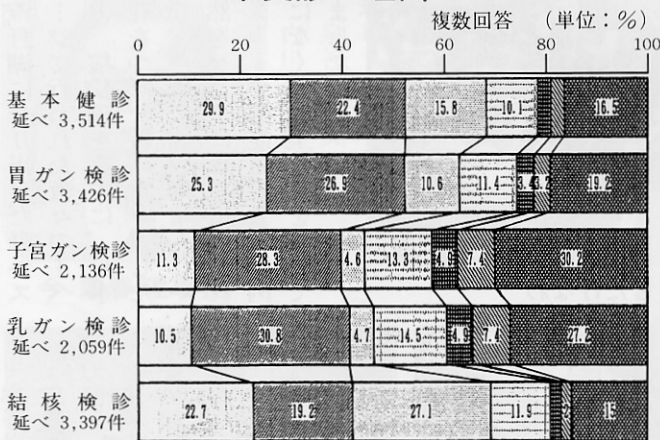
乳がん検診状況の推移



	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4
受診数	420	778	888	764	833	745	928	901	1005
受診率	12.5	23.2	26.4	23.1	25.2	21.0	29.0	28.8	32.5
要精検者数	20	25	48	16	11	12	18	37	30
がん発見数	0	0	0	0	0	0	0	1	1

ローラー作戦を実施

未受診の理由



このように、二年間に及ぶローラー作戦によって、未受診理由・受診意識を把握しただけでなく町の検診体制を考へる上で有効な意見も得られました。これまでも町保健婦による小規模な調査を行ったことはありますが、全町の検

診体制にその結果を生かしきれない状況にありました。今回このような調査結果を踏まえ、現在の検診体制にメスを入れ、今年度から胃ガン・大腸ガン・肺ガン検診、基本健診を同一日に設定しました。つまり今までこれらの検診を受けるには二日を要していたものが一日で済ませることができるようになりました。また、検診で指導が必要と診断された方に対しては、生活習慣改善指導や健康教育、栄養教室なども行われています。

これで全ての方全とはいえませんが、健康管理のひとつとして活用できます。自分の健康は自分でなければ守ることはできません。人生八十年時代を生きていくため健康は自分自身で管理していかねばならないのです。

さくらまつり 過去最高の5 5 5 の人出

じゅう まん せん

1日当りは4日の15万人が最高



登仙岬の見事な桜のトンネル



テープカットで開幕



うまくすぐえるかな



宴もたけなわ

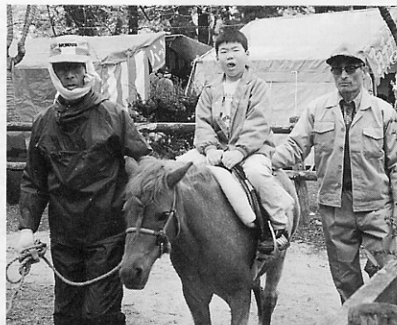
異例の暖冬で、会期前にすでに花がほころび始め、期間中もつか心配されたものの、最後まで最高のコンディションを保った桜まつりは、好天気や大型連休も手伝ってか過去最高の人出を記録、七日間で五十五万五千人（まつり事務局）の花見客が訪れました。

初日の二十九日には、来賓の中里町長、車力村長をはじめ、田中町長、小田桐議長、今商工会長が登仙岬でテープカットし開幕、園内の桜の下では、弁当を広げる家族連れや車座になって酒宴を楽しむ団体などで賑わいました。今年の目玉は、何と行って

も芦野湖にせり出した野外スペースで行われた数々のイベント。桜松橋を真中に、見事に花をつけた桜、青々とした松など芦野公園の素晴らしい自然をバックに繰り広げられたショーや芸能発表会は、例年になく盛り上がりを見せていました。



はじめて行われた登山ばやし大会



将来はダービー騎手がそれとも……



今年も大人気の馬力大会

左右確認・手を上げて よし GO



こうやって渡るんだよ

このほど、保育所の子どもたちに正しい交通ルールを学んでもらおうと、農業者トレーニングセンターで交通安全教室が開かれました。

この後、弘前署の交通巡視員三人と金木署員二人から標識、信号の見方や横断歩道の渡り方などを習い、交通巡視員がふんしたぬいぐるみのネコと一緒に室内に作られた横断歩道を実際に歩く実演をしました。

子どもたちは、信号が青になっても道路を渡る前は左右を確認し、手を上げて横断歩道の上を歩くことをしっかりと覚えたようです。

教室に先立ち、成田教育長が「事故にあわないよう交通ルールをよく勉強して下さい」とあいさつ。

花見の前に クリーン作戦



朝早くからご苦労様です

桜まつりに備え、金木町老人クラブ連合会（会長 木村

不二男）では四月二十八日、老人クラブの事業の一環として町内一斉清掃を行いました。清掃は、各主要道路沿いにポイ捨てされた空き缶や紙くずなど、老人クラブ員総出でデレキとゴミ袋を手に拾い集められ、一時間もしないうちにゴミで袋が一杯になるなど相変らず減る気配もないポイ捨てに「もう少しゴミに対する認識を高めてもらいたい」と訴えていました。

金木町土地開発公社 役員決まる



今 兼春 理事長

- 理事長 今 兼春
- 理事長職務代理者 角田千代作
- 理事 泉谷 義美
- 理事 白川喜美雄

- 監事 原田勘衛門
- 監事 原田 僚
- 監事 秋元幸之進
- 監事 米谷 健二
- 監事 近藤 仁
- 監事 石戸谷欣二

- 事務局 外崎 栄
- 企画室 加藤 磐

◆ 任期 平成五年四月一日から平成七年三月三十一日まで

新たな桜の名所



田中町長自ら植樹

去る四月二十六日、町と営林署が主催する平成五年度植樹祭が約百名の参加者のもと小田川ダムで行われました。植樹に先立ち、主催を代表して田中町長、石岡営林署長

が緑の資源保護の大切さを訴えながらあいさつしました。この後、ダム周辺に「ソメイヨシノ」の苗木をきれいな花が咲くことを願いながら一本一本ていねいに植樹しました。

小田川ダム周辺には平成三年度から五年計画で桜が植樹されており、数年後には新たな桜の名所になります。